

事業報告書

社会福祉法人 北斗市社会福祉協議会

1 法人運営報告

(1) 正副会長会議の開催

・実施回数：4回

・開催場所：保健センター等

※ この会議は、理事会及び評議員会に提出する議案について協議しました。

(2) 理事会及び評議員会の開催

① 理事会の開催状況

開催回	開催日	審 議 事 項 (報告・その他の事項を除く)
第1回	5月30日	1 平成30年度事業報告について 2 平成30年度決算報告について 3 令和元年度第1次補正予算について
第2回	9月12日	1 第13回北斗市社会福祉大会被表彰者等の選考について 2 ホームヘルパー就業規則の一部改正について
第3回	12月13日	1 北斗市社会福祉協議会副会長職の欠員について
第4回	書面審議 (3月17日)	1 令和元年度第2次補正予算について 2 正職員の給与に関する規程の一部改正について 3 継続雇用職員の取扱い要綱の一部改正について 4 臨時職員等の取扱い要綱の一部改正について 5 ホームヘルパー就業規則の一部改正について 6 令和2年度事業計画について 7 令和2年度法人運営事業拠点区分資金収支予算について 8 令和2年度介護支援事業拠点区分資金収支予算について 9 令和2年度指定管理事業拠点区分資金収支予算について 10 令和2年度地域包括支援センター事業拠点区分資金収支予算について

② 評議員会の開催状況

開催回	開催日	審 議 事 項 (報告事項を除く)
第1回	6月13日	1 平成30年度事業報告について 2 平成30年度決算報告について 3 令和元年度第1次補正予算について
第2回	書面審議 (3月25日)	1 令和元年度第2次補正予算について 2 令和2年度事業計画について 3 令和2年度法人運営事業拠点区分資金収支予算について 4 令和2年度介護支援事業拠点区分資金収支予算について 5 令和2年度指定管理事業拠点区分資金収支予算について 6 令和2年度地域包括支援センター事業拠点区分資金収支予算について

(3) 監査の実施

開催回	開催日	監 査 内 容
第1回	5月17日	平成30年度第4四半期会計監査及び法人運営・事業監査
第2回	8月28日	令和元年度第1四半期会計監査
第3回	11月19日	令和元年度第2四半期会計監査
第4回	2月12日	令和元年度第3四半期会計監査

2 各種事業実施報告

本会が実施した事業について、第2期北斗市地域福祉実践計画の基本目標ごとに、次のとおり報告します。

基本目標1 みんなで支え合い・助け合う地域づくり

1 小地域ネットワーク活動推進事業

町会連合会及び民生委員児童委員連合会を中心として、市民と連携を図りながら、住民の皆さんが住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、助け合いチームの組織強化を助長し、見守り活動を中心とした活動支援を行いました。

また、福祉票を活用した安心安全の生活支援を継続展開しました。

【実施町内会数等】

《表中()内は対前年度比較》

	実施町内会数	75歳以上の人口
令和元年度	(0町会) 86町会	(346人) 5,695人
平成30年度	(0町会) 86町会	(0人) 5,349人

2 サロン活動支援事業

町内会やボランティア団体等が会館等を活用し、定期的・継続的に施設を開放しながら、各種の催しを計画し、高齢者等の引きこもりを防いだり、呼びかけすることで、地域とのかかわりを深めるため「ふれあい・いきいきサロン活動」を推進し、サロンを定期的に開催する団体で介護予防に資する運動等を取り入れている団体に対し、活動費の助成を行いました。（市委託事業）

【支援実績】

《表中（ ）内は対前年度比較》

	実施状況	内 訳
令和 元 年度	(助成団体) (4 団体) 13 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・茂辺地地区わくわくサロンひだまり（茂辺地住民センター） ・くろまついきいきサロン（久根別住民センター） ・サロン「たまゆらの家」（市渡借家） ・悠々サロン（富川会館） ・のぼらの会（石別住民センター） ・富川団地ニコニコサロン（富川団地集会所） ・はまなすサロン（はまなす町内会館） ・ふまねっとサロンひまわり（久根別住民センター） ・浜分むくげサロン（浜分ふれあいセンター） ・すみれサロン（七重浜住民センター） ・はまっこサロン（七重浜住民センター） ・たまり場（谷好会館） ・サロン楽活の会（公民館）
平成 30 年度	(助成団体) (1 団体) 9 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・茂辺地地区わくわくサロンひだまり ・くろまついきいきサロン ・サロン「たまゆらの家」 ・悠々サロン ・のぼらの会 ・富川団地ニコニコサロン ・はまなすサロン ・ふまねっとサロンひまわり ・浜分むくげサロン

3 「介護予防運動から始める地域づくり」活動

(1) ふまねっと運動普及事業（市委託事業）

住民同士が気楽に、無理なく集える「ふれあい・いきいきサロン」による地域づくりの動機づけとして、歩行のバランスを改善する介護予防運動を通して地域とのつながりや絆を深める効果がある「ふまねっと運動」の普及を図り、地域住民やボランティアとともに、これに関わる人々が自発的に「通いの場」から「憩いの場」を作り上げることができるように、ふまねっとサポーターとインストラクターを養成し、その普及に取り組みました。

【活動実績】

《表中()内は対前年度比較》

		令和元年度	平成30年度
サポーター養成講座	実施回数	(0) 1回	(△1) 1回
	養成人数	(0) 10人	(△34) 10人
インストラクター 養成講座	実施回数	(△1回) 0回	(1回) 1回
	養成人数	(△23人) 0人	(23人) 23人
ふまねっとサポーター総人数		(10人) 93人	(10人) 83人
サポーターフォローアップ研修		(△2回) 0回	(1回) 2回
ふまねっと運動デモンストレーション		(△1回) 0回	(1回) 1回
サポーター自主練習会		(△8回(△185人)) 39回(547人,毎週1回)	(3回(190人)) 47回(732人,毎週1回)
サポーターの派遣	総数	(△68人) 529人	(200人) 597人
	職員	(21人) 149人	(△54人) 128人
	普及活動員	(△89人) 380人	(254人) 469人
ふまねっと本体の貸し出し		(12件(△2セット)) 162件(213セット)	(16件(21セット)) 150件(215セット)
ふまねっと本体購入費助成		(1件) 1件	(△1件) 0件

【ふまねっと運動実施団体の状況】

《表中()内は対前年度比較》

実施 団体	令和元年度					平成30年度				
	団体数	実施回数	参加者数	サポーター派遣者		団体数	実施回数	参加者数	サポーター派遣者	
				総数	ボランティア				総数	ボランティア
老人 クラブ	(0団体) 5団体	(△30回) 17回	(△281人) 166人	(△86人) 52人	(△59人) 36人	(△3団体) 5団体	(3回) 47回	(△112人) 447人	(7人) 138人	(27人) 95人
町内会	(3団体) 9団体	(20回) 50回	(236人) 517人	(39人) 102人	(19人) 54人	(△6団体) 6団体	(△1回) 30回	(△96人) 281人	(△14人) 63人	(△1人) 35人
その他 の団体	(△3団体) 5団体	(△10回) 13回	(△74人) 204人	(△28人) 37人	(△22人) 32人	(△7団体) 8団体	(△11回) 23回	(△357人) 278人	(△21人) 65人	(11人) 54人
地区 団体	(3団体) 12団体	(30回) 110回	(173人) 1,370人	(17人) 338人	(△24人) 258人	(4団体) 9団体	(48回) 80回	(746人) 1,197人	(218人) 321人	(214人) 282人
介護 施設	(△1事業所) 0事業所	(△6回) 0回	(△61人) 0人	(△10人) 0人	(△3人) 0人	(1事業所) 1事業所	(6回) 6回	(61人) 61人	(10人) 10人	(3人) 3人
合 計	(2団体) 31団体	(4回) 190回	(△7人) 2,257人	(△68人) 529人	(△89人) 380人	(△11団体) 29団体	(45回) 186回	(242人) 2,264人	(200人) 597人	(254人) 469人

※ 「サポーター派遣者総数」欄中「ボランティア」欄は、ボランティアサポーターの人数です。

(2) 誰もが参加できる介護予防運動の普及

介護予防運動を通して地域のつながりや絆を深め、交流の要素をもち、男女区別なくレクリエーション感覚で楽しめる新たな運動として、レクリエーションボッチャの普及に取り組みました。

【レクリエーションボッチャ実施団体の状況】

《表中()内は対前年度比較》

実施団体	令和元年度			平成30年度		
	団体数	実施回数	参加者数	団体数	実施回数	参加者数
デモンストレーション	-	(△8回) 0回	(△105人) 0人	-	8回	105人
市民交流会	上磯地区	1回	21チーム 67人	(令和元年度より実施)		
	大野地区	1回	21チーム 64人			
老人クラブ	(△1団体) 5団体	(△9回) 9回	(△95人) 165人	6団体	18回	260人
町内会	(0団体) 8団体	(18回) 27回	(111人) 267人	8団体	9回	156人
サロン	(2団体) 9団体	(47回) 61回	(459人) 769人	7団体	14回	310人
その他の団体	(1団体) 5団体	(4回) 8回	(90人) 171人	4団体	4回	81人
介護施設	1団体	2回	42人	(令和元年度より実施)		
合計	(3団体) 28団体	(62回) 107回	(607人) 1,414人	25団体	45回	807人

【カーリンコン実施団体の状況】

《表中()内は対前年度比較》

実施団体	令和元年度			平成30年度		
	団体数	実施回数	参加者数	団体数	実施回数	参加者数
老人クラブ	3団体	10回	120人	北斗市老人クラブ連合会の事業として市内4地区でデモンストレーションを実施し、68名が参加。		
町内会	3団体	3回	43人			
サロン	5団体	17回	249人			
その他の団体	1団体	2回	30人			
合計	12団体	32回	442人			

4 高齢者見守り活動等の充実

(1) 独居老人訪問活動事業(福祉五目ちらし事業・サンタクロース事業)

高齢社会における在宅福祉の一環として、民生児童委員や高校生が贈り物を持って、70歳以上の一人暮らしのお年寄宅を訪問し話し相手になるなどして、その安否確認とふれあい活動を行いました。

【実施世帯数】

《表中()内は対前年度比較》

	実施世帯数	地 区 別 内 訳	
令和元年度	(41世帯) 1,324世帯	本所地区 (25世帯) 1,057世帯	支所地区 (16世帯) 267世帯
平成30年度	(22世帯) 1,283世帯	本所地区 (34世帯) 1,032世帯	支所地区 (△12世帯) 251世帯

(2) 歳末福祉見舞金の実施状況

市民の皆様からの歳末たすけあい募金及び福祉灯油用途指定の寄附金を財源として、年末に歳末福祉見舞金を配分しました。

【実施実績】

《表中()内は対前年度比較》

	項 目	金 額	内 訳
令和元年度 〔配分金残額は福祉基金へ積立し、次年度以降の歳末福祉見舞金の財源として活用〕	募金及び寄付金	(△96,000円) 3,984,000円	共同募金会 (△96,000円) 3,384,000円 【寄附金】 ・建設協会 500,000円 ・園友会 100,000円
	配分金	(△96,000円) 3,384,000円	世帯数 (△8世帯) 282世帯 1世帯当たり (0円) 12,000円
平成30年度 〔配分金残額は福祉基金へ積立し、次年度以降の歳末福祉見舞金の財源として活用〕	募金及び寄付金	(△48,000円) 4,080,000円	共同募金会 (△48,000円) 3,480,000円 【寄附金】 ・建設協会 500,000円 ・園友会 100,000円
	配分金	(△48,000円) 3,480,000円	世帯数 (△4世帯) 290世帯 1世帯当たり (0円) 12,000円

【歳末福祉見舞金(福祉灯油代)配分実績】

《表中()内は対前年度比較》

区 分		準要保護世帯	遺児世帯	独居世帯	合 計
令和元年度	世帯数	(3世帯) 234世帯	(△5世帯) 29世帯	(△6世帯) 19世帯	(△8世帯) 282世帯
	配分額	(36,000円) 2,808,000円	(△60,000円) 348,000円	(△72,000円) 228,000円	(△96,000円) 3,384,000円
平成30年度	世帯数	(0世帯) 231世帯	(△3世帯) 34世帯	(△1世帯) 25世帯	(△4世帯) 290世帯
	配分額	(0円) 2,772,000円	(△36,000円) 408,000円	(△12,000円) 300,000円	(△48,000円) 3,480,000円

基本目標 2 福祉の心を育む人づくり

1 社会福祉大会の開催

令和元年 11 月 16 日、「第 14 回北斗市社会福祉大会」を開催し、社会福祉事業に功績のあった 10 名への功労者表彰と多額の寄附をいただいた 1 団体へ感謝状の贈呈を行いました。

また、贈呈式終了後には、江差・姥神大神宮渡御祭で謳われている切り声を「聖武山」の皆さんに披露いただいたほか、北斗市出身のろう者でモデル・ダンサーの Nyanko 氏を講師に招き、「障がいを乗り越え、北斗市から世界へはばたけ！」と題して、手話パフォーマンスで自分の生い立ちや経験などを講演していただき、感動と笑いある盛大な大会となりました。

2 ふれあい福祉まつり in 北斗の開催

令和元年 9 月 21 日、「広げよう！令和の輪！！」をテーマに「ふれあい福祉まつり in 北斗」を開催しました。

会場では、上磯小学校による吹奏楽・合唱や立正幼稚園によるよさこい、赤い羽根チャリティーカラオケ大会のほか、日赤救急法・炊き出し、レクリエーションボッチャ、北海道盲導犬協会による歩行体験、防災グッズの展示、福祉施設作品展示販売、薬剤師等による相談、縁日コーナー、お遊びコーナー、食堂コーナー等を設けたほか、スタンプラリーやお楽しみ抽選会を実施しました。

また、北海道主催による「介護ロボット展in北斗」も同時開催され、多くのボランティアの協力を得ながら、市民相互のふれあい・交流を深め、福祉活動に理解・関心を持っていただくことができました。

3 ふれあい広場の開催

障がい者と地域住民とのふれあいと交流を図るため、(福)侑愛会が主催する「ゆうあい祭・ふれあい広場 2019 ほくと」と(福)函館緑花会が主催する「美ヶ丘収穫感謝の日・北斗ふれあい広場 2019in 美ヶ丘」事業に対し、本会が共催事業として各ボランティア団体とともに参加しました。

4 広報啓発活動の推進

社協の事業内容の理解と支援をいただくため「社協だより」を 4 回発行しました。

また、ホームページを開設し、北斗市社会福祉協議会を PR しました。

5 福祉講座

3 月 1 4 日に北海道防災教育アドバイザーの三浦浩氏を講師に迎え、「奥尻津波物語～あの坂へいそげ～」と題して、自身の被災体験から防災をテーマとして命を守る大切さをお話しいただく予定でしたが、新型コロナウイルスの感染予防の観点から中止としました。

6 市民活動サポートセンター事業

市民協働による「地域づくり」を目的として市民活動サポートセンターを設置し、高

齢者等の生活支援や地域づくりを主な目的として活動する個人又は団体を支え、協働による「地域づくり」の推進に努めました。

当センターは、ボランティアセンターの機能を有するもので、ボランティアの提供会員と依頼会員を登録し、それぞれの会員同士による相互援護活動を支援するとともに、本会が実施する各種事業の協力員等の人材育成を図りました。

また、当センターは災害時には「災害ボランティアセンター」としての機能を果たすため、災害時の災害ボランティア活動が円滑に進められるよう、道社協と災害救援活動の支援に関する協定を結び、職員研修の強化に努めました。

【ボランティア登録者数等】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度	平成30年度
ボランティア登録総数	(9名) 413名	(54名) 404名
個人	(7名) 64名	(△9名) 57名
ボランティア連絡協議会会員	(0団体△5名) 10団体 (204名)	(1団体43名) 10団体 (209名)
除雪協力員	(7名) 145名	(20名) 138名
ボランティア紹介者数	(37名) 595名	(300名) 558名
個人ボランティア	(△16名) 16名	(△188名) 32名
団体ボランティア	(2団体53名) 10団体 579名	(3団体488名) 8団体 526名
新規設立団体数及び会員数	(△1団体△68名) 1団体 3名	(2団体71名) 2団体 71名

7 ボランティア連絡協議会活動支援

市内のボランティア団体等が加盟する連絡協議会の事務局業務を担い、各種事業の運営を支援するとともに、ボランティア活動費の助成を行いました。

〈活動状況〉交流会、夏まつり出店、視察研修、ボランティア愛ランド、新年研修会など

8 母子寡婦会活動支援

母子寡婦会の事務局業務を担い、各種事業の運営を支援するとともに、活動費の助成を行いました。

〈活動状況〉夏まつり出店、視察研修、新年研修会、ふれあい運動会など

9 老人クラブ連合会活動支援

老人クラブ連合会の事務局業務を担い、各種事業の運営を支援するとともに、活動費の助成を行いました。

〈活動状況〉交通安全街頭啓発、パークゴルフ大会、リーダー研修会、施設演芸慰問活動、老人クラブ大会、新年研修会など

10 身体障害者福祉協会活動支援

身体障害者福祉協会の事務局業務を担い、各種事業の運営を支援するとともに、活動費の助成を行いました。

〈活動状況〉 ミニスポーツ大会、レクリエーション、視察研修、新年研修会、カラオケ大会など

11 遺族会活動支援

遺族会の事務局業務を担い、各種事業の運営を支援するとともに、活動費の助成を行いました。

〈活動状況〉 春秋のレクリエーション、平和祈念祭、北海道戦没者追悼式、新年研修会など

12 戦没者慰霊会

戦没者慰霊会の事務局業務を担い、慰霊祭を実施しました。

13 ボランティア団体活動支援

地域づくり活動や福祉教育活動等に取り組む団体・学校等に対し、活動費の助成を行いました。

【ボランティア活動費助成団体等】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度	平成30年度
ボランティア活動団体数	(0 団体) 5 団体	(1 団体) 5 団体
ボランティア活動学校数	(0 高校) 2 高校	(0 高校) 2 高校

基本目標3 安心して暮らせる福祉のまちづくり

1 居宅介護支援事業

ケアマネジャーを配置し、居宅における介護サービス計画（ケアプラン）の作成及び介護支援を実施しました。

【ケアプラン作成件数】

《表中()内は対前年度比較》

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和元年度	(52 件) 772 件	(△33 件) 405 件	(49 件) 195 件	(△43 件) 68 件	(△12 件) 7 件	(13 件) 1,447 件
平成30年度	(58 件) 720 件	(△33 件) 438 件	(△23 件) 146 件	(△20 件) 111 件	(△19 件) 19 件	(△37 件) 1,434 件

【要介護度認定調査実施状況】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度	平成30年度
要介護度認定調査件数	(25 件) 173 件	(22 件) 148 件

2 訪問介護事業

居宅における介護（介護保険、障害福祉サービス）のため、ヘルパーを派遣し、生活援助や身体介護等を実施しました。

(1) 介護保険事業

【利用実績】

《表中（ ）内は対前年度比較》

	介護度	利用者数 (人)	利 用 回 数 (回)						
			身体 介護	生活 援助	身体 生活	介護 Ⅰ型	介護 Ⅱ型	介護 Ⅲ型	合計
令和 元 年度	総合事業	(44) 113				(143) 392	(66) 96		(206) 488
	要支援 1	(△5) 69	—	—	—	(20) 194	(△54) 153	—	(△34) 347
	要支援 2	(85) 253	—	—	—	(308) 254	(△11) 653	(1) 245	(298) 1,460
	要介護 1	(0) 351	(△11) 405	(△281) 2,595	(213) 404	—	—	—	(△393) 3,303
	要介護 2	(48) 265	(130) 557	(△76) 1,293	(△19) 108	—	—	—	(188) 2,092
	要介護 3	(16) 128	(74) 237	(263) 1,812	(27) 281	—	—	—	(257) 2,250
	要介護 4	(2) 49	(72) 333	(△17) 8	(49) 148	—	—	—	(73) 507
	要介護 5	(△14) —	(△262) —	—	—	—	—	—	(△262) 0
	合 計	(176) 1,228	(3) 1,532	(△111) 5,708	(△29) 912	(468) 1,148	(1) 902	(2) 245	(333) 10,447
平成 30 年度	総合事業	(31) 69				(114) 252	(30) 30		(144) 282
	要支援 1	(△7) 74	—	—	—	(△59) 174	(3) 207	—	(△56) 381
	要支援 2	(△32) 168	—	—	—	(△90) 254	(123) 664	(△315) 244	(△282) 1,162
	要介護 1	(36) 351	(129) 416	(136) 2,876	(213) 404	—	—	—	(478) 3,696
	要介護 2	(△12) 217	(30) 427	(△540) 1,369	(△19) 108	—	—	—	(△529) 1,904
	要介護 3	(13) 112	(20) 163	(232) 1,549	(27) 281	—	—	—	(279) 1,993
	要介護 4	(△8) 47	(69) 261	(△107) 25	(49) 148	—	—	—	(11) 434
	要介護 5	(△10) 14	(△480) 262	(△10) —	(△36) —	—	—	—	(△526) 262
	合 計	(11) 1,052	(△232) 1,529	(△289) 5,819	(234) 941	(△35) 680	(△156) 901	(△315) 244	(△481) 10,114

※介護Ⅰ型：週1回程度の利用、介護Ⅱ型：週2回程度の利用、介護Ⅲ型：週3回程度の利用

(2) 障害福祉サービス（居宅介護）事業

【利用実績】

《表中（ ）内は対前年度比較》

	区 分	利用者数 (人)	利 用 回 数 (回)					合計
			身体 介護	家事 援助	重度 訪問	通院	同行 援護	
令和 元 年度	身体障害	(△6) 133	(△146) 397	(△109) 357	—	(△25) 251	(△4) 55	(△284) 1,060
	知的障害	(△8) 16	—	(△4) 102	—	(△15) 4	—	(△19) 106
	障 害 児	(△4) 8	(8) 27	—	—	(△4) 6	—	(4) 33
	精神障害	(10) 154	—	(△99) 1,239	—	(△165) 152	—	(△264) 1,391
	合 計	(△8) 311	(△138) 424	(△212) 1,698	—	(△209) 413	(△4) 55	(△563) 2,590
平成 30 年度	身体障害	(△10) 139	(31) 543	(△104) 466	—	(△156) 276	(10) 59	(△219) 1,344
	知的障害	(0) 24	—	(△3) 106	—	(△6) 19	—	(△9) 125
	障 害 児	(2) 12	(△42) 19	—	—	(△1) 10	—	(△43) 29
	精神障害	(22) 144	(△62) 0	(△84) 1,338	—	(91) 317	—	(△55) 1,655
	合 計	(14) 319	(△73) 562	(△191) 1,910	—	(△72) 622	(10) 59	(△326) 3,153

3 軽度生活援助事業（市委託事業）

在宅のひとり暮らし高齢者の自立した日常生活を維持し、要介護状態への進行防止を図るためのヘルパーの派遣について、利用の実績はありませんでした。

※ 本事業は、市が利用者を決定し、市からの依頼によって決定者に対して援助活動を行うものです。

【利用実績】

《表中（ ）内は対前年度比較》

	利用者数	延べ提供回数
令和 元 年度	(0 人) 0 人	(0 回) 0 回
平成 30 年度	(0 人) 0 人	(0 回) 0 回

4 生活管理指導員派遣事業（市委託事業）

基本的な生活習慣が欠如するなど、社会適応が困難な高齢者が日常生活に必要な指導等を必要とする場合に指導員を派遣する事業について、利用の実績はありませんでした。

※ 本事業は、市が利用者を決定し、市からの依頼によって決定者に対してヘルパーを派遣するものです。

【利用実績】

《表中()内は対前年度比較》

	利用者数	延べ提供回数
令和元年度	(0人) 0人	(0回) 0回
平成30年度	(0人) 0人	(0回) 0回

5 除雪サービス事業（市委託事業）

労力その他の理由により除雪が困難な高齢者世帯等に対して、積雪による災害の発生等を未然に防ぐため、町内会等の除雪協力員により居宅の除雪を行いました。

【実施世帯数】

《表中()内は対前年度比較》

	老人世帯	老人独居	障害世帯	障害独居	老人世帯 障害世帯	老人独居 障害独居	合計
令和元年度	(△7世帯) 77世帯	(△11世帯) 303世帯	(0世帯) 4世帯	(△1世帯) 42世帯	(△2世帯) 31世帯	(2世帯) 50世帯	(△19世帯) 507世帯
平成30年度	(26世帯) 84世帯	(△55世帯) 314世帯	(4世帯) 4世帯	(30世帯) 43世帯	(1世帯) 33世帯	(26世帯) 48世帯	(32世帯) 526世帯

6 食の自立支援事業（市委託事業）

調理困難な高齢者に対して、定期的に居宅を訪問し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに利用者の安否確認を行いました。

【利用実績】

《表中()内は対前年度比較》

サービス名	調理施設	令和元年度		平成30年度	
		実利用者数	延べ利用者数	実利用者数	延べ利用者数
配食サービス	特養 清華園	(△10人) 63人	(△357人) 7,342人	(10人) 73人	(△183人) 7,699人

7 法外介護サービス事業

介護保険や自立支援等では対応できない介護サービス等を行いました。

【利用実績】

《《表中()内は対前年度比較》》

	利用者実人数	利用者延べ人数	延べ提供回数
令和元年度	(△3人) 7人	(3人) 19人	(13回) 35回
平成30年度	(5人) 10人	(6人) 16人	(11回) 22回

8 家族介護者交流事業（市委託事業）

重度の高齢者を介護している家族に対し、介護から一時的に解放し、心身の元気回復を図るための介護者相互の交流会について、参加希望世帯がいなかったため行われませんでした。

※ 本事業は、市が参加者を決定し、本会に実施の依頼があった場合に交流会を開くものです。

【参加実績】

《表中()内は対前年度比較》

	参加世帯	実施回数
令和元年度	(0世帯) 0世帯	(0回) 0回
平成30年度	(0世帯) 0世帯	(0回) 0回

9 認知症対策

(1) 認知症初期集中チーム業務（市委託事業）

市が実施する「認知症初期集中チーム」に本会職員を参加させ、認知症対策に取り組みました。

(2) ほくと市認知症の人と家族の会活動支援

「ほくと市認知症の人と家族の会」の事務局業務を担い、認知症の人とその家族への支援と福祉の向上に努めました。

10 移動支援サービス事業（市委託事業）

屋外での移動が困難な障がい者に対して、社会生活上、必要不可欠な外出や余暇活動などの社会参加のための外出の際にヘルパーを派遣し、移動の支援を行いました。

【利用実績】

《表中()内は対前年度比較》

	利用者実人数	利用者延べ人数	延べ提供回数
令和元年度	(△1人) 3人	(△4人) 15人	(2回) 219回
平成30年度	(0人) 4人	(△1人) 19人	(△27回) 217回

11 福祉有償運送事業

介護を必要とする身体の不自由な高齢者や障がい者等であって、移送手段を確保することが困難な方に対し、福祉車両による移送を行いました。

【利用実績】

《《表中()内は対前年度比較》》

	介護保険		自立支援		合計	
	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数
令和元年度	(8人) 381人	(43回) 862回	(△27人) 207人	(△127回) 518回	(△19人) 588人	(23回) 1,380回
平成30年度	(12人) 373人	(73回) 819回	(△4人) 234人	(△127回) 538回	(8人) 607人	(△54回) 1,357回

12 南渡島ファミリー・サポート・センター運営事業（市委託事業）

子育て支援の一環として、提供会員の養成をしながら依頼会員の要請に応じてサービス提供を行いました。

【利用実績】

《表中()内は対前年度比較》

	依頼件数	会 員 数			
		提供会員数	依頼会員数	両方会員数	合 計
令和元年度	(△544件) 1,262件	(3人) 141人	(6人) 607人	(△8人) 67人	(1人) 815人
平成30年度	(220件) 1,806件	(0人) 138人	(8人) 601人	(△3人) 75人	(5人) 814人

13 養育支援訪問事業（市委託事業）

育児ストレス等によって、子育てに対して不安や孤立感等を抱える家庭や、様々な原因で養育支援が必要と認められる家庭に対し、児童虐待未然防止等のため、訪問支援員を家庭訪問され、養育支援・援助等を行いました。

【支援実績】

《表中()内は対前年度比較》

	訪問支援員数	養育支援数	訪問回数(会議含む)
令和元年度	(1人) 4人	(0世帯) 3世帯	(2回) 23回
平成30年度	(0人) 3人	(1世帯) 3世帯	(△8回) 21回

14 産前・産後サポート事業（市委託事業）

産前・産後のため、家事や育児が困難な家庭に対し、産前産後支援ヘルパーを派遣しました。

【利用実績】

《表中()内は対前年度比較》

	利用者実人数	利用者延べ人数	延べ提供回数
令和元年度	(9人) 24人	(25人) 64人	(98回) 238回
平成30年度	(3人) 15人	(10人) 39人	(39回) 140回

15 日常生活自立支援事業（道社協委託事業）

高齢や障害により日常生活の判断能力に不安のある方が、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用手続きや生活費の管理などの援助を行いました。

【利用実績】

《表中()内は対前年度比較》

	利用者数	支援回数	支援員数
令和元年度	(1人) 4人	(1回) 74回	(0人) 9人
平成30年度	(△1人) 3人	(△27回) 73回	(0人) 9人

16 法人後見事業の推進

判断能力が不十分で意思決定が困難な人の判断能力を補うため、成年後見人に就任し、本人の権利擁護を図り、地域福祉の推進に寄与しました。

【受任実績】

	受任件数	内 訳
令和 元 年度	2 件	入院者、グループホーム入所者
平成 30 年度	1 件	入院者

17 心配ごと相談事業の推進

住民の悩みごとや心配ごとなどの相談に応じる「よろず相談窓口」を通年開設し、住民の福祉増進を図るための相談事業を行いました。

【相談実績】

《表中()内は対前年度比較》

令和 元 年度	相談内容	生計	年金	住宅	家族	結婚	離婚	医療	財産	母子
	件 数		(△1) 0	(1) 1			(△1) 0	(1) 1	(△3) 0	
	相談内容	苦情	人権	健康	職業	精神	教育	その他	合 計	
	件 数		(1) 1						(△2) 3 件	

平成 30 年度	相談内容	生計	年金	住宅	家族	結婚	離婚	医療	財産	母子
	件 数		(1) 1	(△3) 0	(△3) 0		(1) 1	(△1) 0	(3) 3	
	相談内容	苦情	人権	健康	職業	精神	教育	その他	合 計	
	件 数							(△2) 0	(△4) 5 件	

【処理状況】

《表中()内は対前年度比較》

	取 扱 内 容				合計
	当事者来所	民生委員	他機関紹介	その他	
令和 元 年度	(△2 件) 0 件		(0 件) 3 件		(△2 件) 3 件
平成 30 年度	(△3 件) 2 件		(△1 件) 3 件		(△4 件) 5 件

18 生活困窮者自立相談支援事業の推進（市委託事業）

生活困窮者や引きこもり、ニート、障害などで働くことに不安を抱えている方などに対し、地域において自立した生活が送れるよう、北斗市生活相談支援センターを設置し、相談支援、就労準備支援及び家計相談支援事業を実施しました。

【相談実績】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度		平成30年度	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
相談件数	(△3件) 137件	(△72件) 368件	(5件) 140件	(52件) 440件
男性	(8件) 63件	(△25件) 147件	(△6件) 55件	(△13件) 172件
女性	(△11件) 74件	(△47件) 221件	(11件) 85件	(65件) 268件

【相談内容(実件数)】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度	平成30年度
生活応急資金貸付	(20件) 39件	(△29件) 18件
生活福祉資金貸付	(44件) 48件	(△37件) 4件
生活苦・借金返済	(△65件) 32件	(79件) 97件
その他	(△3件) 18件	(3件) 21件
合計	(△3件) 137件	(5件) 140件

【支援件数(延べ回数)】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度	平成30年度
電話相談・連絡	(△39回) 116回	(15回) 155回
訪問・同行支援	(8回) 77回	(△7回) 69回
面接	(△33回) 83回	(29回) 116回
他機関との電話照会等	(△18回) 42回	(2回) 60回
その他	(10回) 50回	(13回) 40回
合計	(△72回) 368回	(52回) 440回

19 生活福祉資金の貸付支援

北海道社会福祉協議会が実施している生活福祉資金貸付制度に対し、離職者や低所得世帯、母子家庭、障がい者世帯等を対象にした総合支援資金、福祉資金、教育支援資金等の貸付において、民生委員児童委員との連携協力により、経済的自立と生活意欲の向上を図り、安定した生活ができるよう生活福祉資金の貸付に係る相談・支援を行いました。

【貸付実績】

《表中()内は対前年度比較》

資金別 世帯別	令和元年度					平成30年度				
	総合 支援	福祉	教育	その他	合計	総合支 援	福祉	教育	その他	合計
低所得				(2件) 2件	(2件) 2件			(△1件) 0件	(△1件) 0件	(△2件) 0件
母子		(△2件) 1件	(△1件) 0件	(△1件) 0件	(△4件) 1件		(3件) 3件	(1件) 1件	(1件) 1件	(5件) 5件
身障										
生保										
離職者										
被災者										
合計		(△2件) 1件	(△1件) 0件	(1件) 2件	(△2件) 3件		(3件) 3件	(0件) 1件	(0件) 1件	(3件) 5件

【相談実績】

《表中()内は対前年度比較》

区 分	令和元年度		平成30年度	
	実相談人数	延べ相談件数	実相談人数	延べ相談件数
貸付等相談	(4人) 37人	(△3件) 59件	(2人) 33人	(21件) 62件
償還等相談	(△2人) 11人	(△1件) 24件	(3人) 13人	(△14件) 25件
合計	(2人) 48人	(△4件) 83件	(5人) 46人	(7件) 87件

20 生活応急資金の貸付

低所得世帯の経済的自立と生活意欲の向上を図るため、一時的に必要な資金の貸付を行いました。

【貸付実績】

《表中()内は対前年度比較》

区 分	令和元年度		平成30年度	
	貸付件数	貸付金額	貸付件数	貸付金額
生活保護世帯	(5件) 10件	(104,820円) 209,820円	(△2件) 5件	(△17,000円) 105,000円
母子家庭世帯	(△6件) 1件	(△420,000円) 70,000円	(6件) 7件	(420,000円) 490,000円
低所得者世帯	(6件) 12件	(330,000円) 730,000円	(△4件) 6件	(△198,000円) 400,000円
合計	(5件) 23件	(14,820円) 1,009,820円	(0件) 18件	(205,000円) 995,000円

【相談実績】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度		平成30年度	
	実相談人数	延べ相談件数	実相談人数	延べ相談件数
貸付等相談	(△7人) 23人	(△4件) 51件	(△1人) 30人	(△18件) 55件
償還等相談	(△2人) 16人	(△56件) 19件	(2人) 18人	(6件) 75件
合計	(△9人) 39人	(△60件) 70件	(1人) 48人	(△12件) 130件

21 北斗市地域包括支援センター事業（市委託事業）

北斗市地域包括支援センターかけはしを設置し、要支援者の自立を目指した取組として、以下の事業等を実施しました。

① 総合相談支援事業

【相談実績】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度		平成30年度	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
センター来所	(△9件) 99件	(17件) 328件	(28件) 108件	(144件) 311件
電話相談	(9件) 604件	(△249件) 3,074件	(89件) 595件	(520件) 3,323件
自宅訪問	(87件) 193件	(228件) 1,769件	(△113件) 106件	(508件) 1,541件
その他	(△4件) 13件	(27件) 251件	(9件) 17件	(91件) 224件
合計	(83件) 909件	(23件) 5,422件	(13件) 826件	(1,263件) 5,399件

【相談内容】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度		平成30年度	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
介護相談	(39件) 120件	(75件) 697件	(△62件) 81件	(△112件) 622件
介護保険サービス	(△3件) 575件	(△183件) 2,482件	(87件) 578件	(229件) 2,665件
地域支援事業	(△34件) 25件	(△328件) 164件	(△11件) 59件	(72件) 492件
保健福祉サービス	(8件) 26件	(44件) 128件	(△16件) 18件	(△6件) 84件
ケアマネジメント等	(4件) 16件	(55件) 231件	(7件) 12件	(134件) 176件
虐待・権利擁護	(△1件) 50件	(239件) 1,280件	(10件) 51件	(553件) 1,041件
その他	(51件) 97件	(△74件) 440件	(16件) 46件	(307件) 514件
合計	(64件) 909件	(△172件) 5,422件	(31件) 845件	(1,177件) 5,594件

【相談者区分】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度		平成30年度	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
本人	(95件) 231件	(△47件) 1,047件	(△109件) 136件	(157件) 1,094件
家族	(4件) 250件	(34件) 1,460件	(1件) 246件	(347件) 1,426件
介護支援専門員	(△8件) 109件	(19件) 512件	(29件) 117件	(23件) 493件
介護サービス事業所	(△7件) 104件	(36件) 827件	(55件) 111件	(260件) 791件
行政関係	(△9件) 73件	(41件) 726件	(9件) 82件	(101件) 685件
医療機関	(△6件) 58件	(△25件) 391件	(11件) 64件	(120件) 416件
その他の関係機関	(6件) 22件	(2件) 258件	(△4件) 16件	(174件) 256件
民生委員・町内会	(11件) 43件	(△40件) 129件	(7件) 32件	(52件) 169件
相談協力者	(1件) 2件	(△2件) 3件	(0件) 1件	(△8件) 5件
近隣住民・知人	(△4件) 17件	(5件) 69件	(14件) 21件	(37件) 64件
合計	(83件) 909件	(23件) 5,422件	(13件) 826件	(1,263件) 5,399件

② 権利擁護事業

【相談支援実績】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度		平成30年度	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
成年後見制度	(6件) 8件	(85件) 189件	(0件) 2件	(96件) 104件
消費者被害	(4件) 4件	(8件) 8件	(0件) 0件	(0件) 0件
困難事例	(0件) 12件	(94件) 297件	(△6件) 12件	(61件) 203件
その他	(△2件) 9件	(△14件) 311件	(10件) 11件	(306件) 325件
合計	(8件) 33件	(173件) 805件	(4件) 25件	(341件) 632件

③ 虐待

【相談支援実績】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度		平成30年度	
	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
身体的虐待	(△9件) 14件	(23件) 370件	(4件) 23件	(183件) 347件
経済的虐待	(1件) 3件	(59件) 105件	(1件) 2件	(43件) 46件
精神的虐待	(△1件) 0件	(△16件) 0件	(△1件) 1件	(△12件) 16件
性的虐待	(0件) 0件	(0件) 0件	(0件) 0件	(0件) 0件
介護放棄	(0件) 0件	(0件) 0件	(△1件) 0件	(△2件) 0件
合計	(△9件) 17件	(66件) 475件	(3件) 26件	(212件) 409件

④ 介護予防マネジメント事業

【介護予防支援実績】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度		平成30年度	
	実人数	うち新規	実人数	うち新規
要支援1	(127人) 877人	(5人) 31人	(△355人) 750人	(△16人) 26人
要支援2	(137人) 1,566人	(4人) 51人	(△705人) 1,429人	(△2人) 47人
合計	(264人) 2,443人	(10人) 82人	(△1,060人) 2,179人	(△19人) 72人
月平均	(22人) 204人	(1人) 7人	(△88人) 182人	(△2人) 6人

【介護予防ケアマネジメント実績】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度		平成30年度	
	実人数	うち新規	実人数	うち新規
ケアマネジメントA	(129人) 3,361人	(△24人) 106人	(1,529人) 3,232人	(46人) 130人
ケアマネジメントB	(△12人) 2,407人	(△9人) 29人	(△31人) 2,419人	(11人) 38人
合計	(117人) 5,768人	(△33人) 135人	(1,498人) 5,651人	(57人) 168人
月平均	(10人) 481人	(△3人) 11人	(125人) 471人	(5人) 14人

⑤ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

【活動実績】

《表中()内は対前年度比較》

事業名	令和元年度	平成30年度
福祉関係事業所研修会(包括・市・ケアマネ協会)	(0回) 0回	(0回) 0回
認知症連絡協議会及び研修会 (道南認知症疾患医療連絡協議会)	(1回) 3回	(1回) 2回
介護予防運動基礎知識研修	(0回) 0回	(0回) 0回
地域ケア会議	(1回) 5回	(0回) 4回
事例検討会	(△2回) 1回	(0回) 3回
OJT事業	(1回) 1回	(0回) 0回
高齢者虐待予防研修会	(0回) 1回	(0回) 1回
地域ケア会議促進事業	(1回) 1回	(△4回) 0回
主任介護支援員の集い	(0回) 3回	(△1回) 3回
保健・医療・福祉・介護の連携会議	(0回) 1回	(0回) 1回
北斗市介護支援専門員協会研修	(△1回) 3回	(0回) 4回
脳卒中对策専門部会研修	(△1回) 0回	(1回) 1回
難病対策専門部会研修	(0回) 1回	(0回) 1回

⑥ 地域づくり

【活動実績】

《表中()内は対前年度比較》

事業名	令和元年度	平成30年度
地域介護予防講座(予防体操含む)	(9講座) 18講座	(△5講座) 9講座
認知症家族の会定例会・役員会(H25より事務局)	(△4回) 11回	(0回) 15回
運営推進会議	(△10回) 67回	(22回) 77回
認知症サポーター養成講座	(△3会場) 9会場	(10会場) 12会場

⑦ 地域支援事業(訪問アセスメント)

【アセスメント実績】

《表中()内は対前年度比較》

事業名	令和元年度	平成30年度
食の自立支援事業	(△18件) 12件	(13件) 30件
軽度生活援助事業	(0件) 0件	(0件) 0件
生活管理短期宿泊	(1件) 2件	(1件) 1件

22 手話通訳者養成事業（市委託事業）

聴覚障がい者の日常生活を支援するための手話通訳者を養成する事業について、利用の実績はありませんでした。

23 生活支援体制整備事業（市委託事業）

介護保険制度の総合事業の推進による地域の資源の開発や多様な主体のネットワーク化等を図るため、本会内に生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）2名を配置し、生活支援サービス等の基盤整備に取り組みました。

今年度、社会福祉法人民生博愛会の地域貢献活動として、押上自治会の高齢者を対象とした買い物支援事業を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期としております。

24 災害ボランティア活動の強化

災害時の災害ボランティア活動が円滑に進められるよう、道社協と災害救援活動の支援に関する協定を結び、職員研修の強化に努めました。

基本目標 4 組織体制の強化と基盤づくり

1 保健センター指定管理

(1) 北斗市保健センター管理事業（市委託事業）

北斗市保健センターの指定管理者として本会が常駐し、センターの貸出業務及び施設管理等を行いました。

【利用実績】

《表中（ ）内は対前年度比較》

	年間利用者数	月平均利用者数
令和元年度	(△5人) 11,078人	(0人) 924人
平成30年度	(△958人) 11,083人	(△79人) 924人

(2) 北斗市せせらぎ保健センター管理事業（市委託事業）

せせらぎ保健センターの指定管理者として本会（ファミリーサポートセンター）が常駐し、センターの貸出業務及び施設管理等を行いました。

【利用実績】

《表中（ ）内は対前年度比較》

	年間利用者数	月平均利用者数
令和元年度	(△1,259人) 5,936人	(△105人) 495人
平成30年度	(452人) 7,195人	(39人) 600人

2 会員増強運動の推進

本会の財政基盤の確立を図るため、市民の皆様のご理解と町会連合会のご協力をいただき、個別会員の加入促進及び市内の企業・事業所等に対し、賛助会員の加入促進に取り組みました。

【会員等実績】

《表中()内は対前年度比較》

	令和元年度		平成30年度	
	内 訳	金 額	内 訳	金 額
戸別会員	(△126帯) 13,978 世帯	(△25,200円) 2,795,600 円	(△37帯) 14,104 世帯	(△7,400円) 2,820,800 円
個人会員	(△5人) 206 人	(△5,000円) 206,000 円	(△4人) 211 人	(△4,000円) 211,000 円
団体会員	(0団体) 58 団体	(0円) 174,000 円	(1団体) 58 団体	(3,000円) 174,000 円
特別会員	(△1町会) 85 町会	(△2,000円) 170,000 円	(0町会) 86 町会	(0円) 172,000 円
賛助会員	(△3事業所) 139 事業所	(△3,000円) 1,156,000 円	(0事業所) 142 事業所	(△14,000円) 1,159,000 円
合 計		(△35,200円) 4,501,600 円		(△22,400円) 4,536,800 円

※賛助会員増強運動期間 6月24・26・27・28日 4日間

3 寄附金の状況

企業や市民の皆様から寄せられた寄附金は、地域福祉事業の活動資金として活用することになっています。

【寄附実績】

《表中()内は対前年度比較》

	件 数	金 額
令和元年度	(△9件) 13 件	(△847,716円) 1,751,621 円
平成30年度	(0件) 22 件	(△1,046,641円) 1,836,337 円

4 職員の研修強化

新たな福祉課題に対応していくため、職員の資質の向上と意識改革を目指し、職員が希望する各種研修・講習等に積極的に参加させ、人材の育成に取り組みました。

また、職員の積極的な自己啓発意欲を促進し、業務遂行能力を高めるため、令和元年度より、資格取得に要する受講料などを助成する職員資格取得等助成制度を設け、職員のスキルアップに努めています。

5 福祉人材の確保

本会が経営する訪問介護事業所等の人材を確保するため、職業的従事者のみならず、ボランティアまでを含めた、福祉サービス・援助活動を担う質の高い人材の育成を目的として介護職員人材育成支援事業助成金制度を設け、人材の確保及び資質の向上に取り組みました。

6 北斗市共同募金委員会事務局

共同募金委員会の事務局業務を担い、次の募金運動に取り組みました。

(1) 赤い羽根共同募金活動

町内会や学校等の協力を得て募金活動を実施し、本会等の地域福祉活動事業の財源の確保に努めました。

- ① 募金活動として、戸別募金、企業募金、職域・学校募金、街頭募金活動等の運動を行いました。
- ② 赤い羽根共同募金の基本的なしくみ等について、広く市民に周知を図るため、社協だよりや本会ホームページ等を利用して広報活動を実施しました。
- ③ 本会独自の寄附金付きピンバッチを製作して募金活動を実施しました。

(2) 歳末助け合い募金活動

町内会の協力を得て戸別募金を中心とした募金活動を実施し、歳末福祉見舞金や独居老人訪問活動事業(福祉五目ちらし事業・サンタクロース事業)の財源の確保に努めました。

7 苦情処理への対応

介護保険サービス事業に係る利用者からの苦情や社協が行う事業全般に対する苦情等を受け、公平・適切、かつ速やかに問題解決を図るために「苦情解決対策本部」を設置しています。そのほか、第三者委員による「苦情処理相談員」4名を地区ブロックごとに配置していますが、苦情はありませんでした。